

奈良

奈良支局

〒630-8001
奈良市法華寺町141-1
☎(代)0742-34-1101
FAX 34-1103
ホームページ
http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/nara/

橿原支局

〒634-0063
橿原市久米町652-2
橿原市商工経済会館2F
☎0744-28-6388
FAX 28-6399

通信部

大和高田 0745-55-7988
桜井 0745-87-3250
五條 0747(下市局)・52-7611
大和郡山 0743-56-1812
生駒 0743-75-2503

広告のご用は
☎0742-23-6458~9
読売旅行は
☎0742-26-5555

ミツバチからの贈り物
高濃度プロポリス
栄養補助食品(日本健康・栄養食品協会認定)

三徳株式会社
☎0120-041328

春季近畿地区
予選(3日・県
▽3回戦 榎
所工・実(延長
央8-0 榿原、
工業(5回コ-

体外受精 30万円台半数

晩婚化とともに、増加傾向にある不妊治療。「くらし健康面」では、昨年一年間の延べ妊娠数を35件以上と回答した医療機関を一覧にしたが、地域版では、全アンケート回答施設について治療費用なども合わせて紹介する。

病院の力 実力

* 奈良編 6

不妊治療

体外受精の標準的費用(万円)	有無	治療	男性不妊の
34	×	○	○
37~38	×	×	×
30	○	×	×
30	×	○	○
35	×	○	○
46	×	○	○
約45	×	○	○
31	×	○	○
35	×	○	○
25	×	○	○
35	×	○	○
27	×	○	○
28	○	○	○
25~30	○	○	○
28	×	○	○
30	×	○	○
約30	×	○	○
35	○	○	○

■治療にかかる費用

体外受精や顕微授精は保険が適用されず、費用は医療機関によってまちまちだ。アンケートで標準的な体外受精1回あたりの費用を尋ねると、全国で半数が30万円台と回答し、20万円台は約3割だった。体外受精や顕微授精には公的助成もあり、厚生労働省は夫婦の所得が730万円未満の夫婦が受ける場合、年間20万円を上限に5年間、費用を補助している。別に、独自に助成している自治体もある。

■出産設備

不妊治療を行う医療機関には出産設備があるところもあれば、そうでない施設もある。一覧表には、出産設備の有無

■男性不妊

男性不妊の診断は、精液を採取して精子の数や動きを調べる。中には精子がない人もいる。これは、精子をつくる「精巣」周辺の静脈にもともととコブがあり、血流が悪くて精子をつくる機能が悪かったり、精子が通る「精管」が詰まったりしていることが原因だ。そうした場合、手術で機能改善を図ったり、精巣の組織を切り出し、精子を取り出したりする。

患者会で悩み共有



「患者さんが納得いくまで治療法を説明するのが大事」と話す中山院長(奈良市のASKAレディースクリニックで)

ASKAレディースクリニック

ASKAレディースクリニック(奈良市北登美ヶ丘)は、不妊治療を専門に扱う。中山雅博院長は「できるだけ自然の力を利用したい。夫婦にとって必要、最小限の治療を提案するのが方針」と話す。同クリニックでは、35歳未満は通常、タイミング法を半

女性の生殖機能

「20歳代前半をピークが高くなればなるほど、質は低くなる」と、結婚後、2年近く妊婦

患者の声

私たち夫婦が主人公

生駒市 主婦(38)

ました。これらは妊娠すると症状が軽減すると聞いたので「まずは不妊治療」と、タイミング法を半年間、人工、体外受精も行い、現在も治療中です。常に今のような状況なのか、一般的には合を「不妊」とい

行つこともある。出があることから、受はあり、「精子と卵う場さえ確実に作わする可能性が高い。卵誘発剤も使う必要自然に近い」と強調

また、「主人が治しない」「なかなかいだが、治療を続けるなど患者から相談とも少なくない。いつめられるケイマ中山院長は「治療の理解し、患者さんをよく存在が必要」同クリニックでは、ウンセラや不妊治療看護師などのスタッフにのり、2003年に、同士が悩みを分かた「あすか会」も発卵に至った患者によるままとめた冊子も院内